

生成AIがもたらす未来 ～ビジネス活用の入門ガイド～

近年、ChatGPTをはじめとする生成AIが、高度な言語処理やコンテンツ作成ができることから、多方面で話題になっています。ビジネスの世界においてもAIの力を使って、効率的に広告やマーケティングのコンテンツを作成したり、ビジネス文書を生成したりすることが可能になっています。少ないリソースで大きな成果を狙うなら、生成AIが最強の味方になるかもしれません。本記事では、生成AIの基本的な仕組みや、具体的な活用例や注意点を解説します。

【出典・参考】 東京商工会議所「中小企業のための『生成AI』活用入門ガイド」
(一社)日本ディープラーニング協会「生成AIの利用ガイドライン」

生成AIって何？

生成AIとは、ユーザーから入力された情報に応じて、テキスト・画像・音楽・映像などのコンテンツを生成することができる人工知能（AI）です。インターネット上などの大量のデータを学習し、その中に存在する潜在的なパターンや規則性を抽出し、入力された情報に対して「最も確からしい」コンテンツを生成します。例えば、大量のテキストデータから文法や単語の使い方を学び、その知識を元に新しい文章を作成することがができます。

生成AIの基本的な仕組み

現状の生成AIサービスは、経営者層であれば、事業等のアイデア出しや情報収集など経営判断の支援ツールとして、従業員では、業務効率化や営業強化のツールとして有効活用できます。後述する注意すべき点や生成AIの限界を理解したうえで活用すれば、中小企業の抱える経営課題解決の一助となる有力なツールとなり得ます。

生成AIの代表的なサービス (一部有料のサービスもあり)

次の表のように、様々な生成AIサービスが展開されており、今後NTTやNEC、ソフトバンクなどの国内企業によるサービスの提供も予定されています。今回は代表的なサービスであるChatGPTを例として紹介していきます。

- ・テキスト(文章生成)
 - ◆ChatGPT(米国・OpenAI社) ※一部画像生成にも対応
 - ◆Gemini(旧名称:Google Bard)(米国・Google社)
 - ◆Microsoft Bing(米国・Microsoft社)
- ・画像生成
 - Midjourney(米国・Midjourney社)
 - Bing Image Creator(米国・Microsoft社)
 - Adobe Firefly(米国・Adobe社)
- ・音楽作成
 - MusicLM(米国・Google社)

ChatGPTとは？

ChatGPTとは、チャット形式で自然な会話ができるテキスト生成AIサービスです。2022年11月のサービス提供開始以来、人間のような自然な文章生成・応答をすることから、そのクオリティの高さが多方面で話題になっています。性能の評価が世界中で進んでおり、米国のMBA試験に合格するために必要なレベルの解答を提供したとの報告もあります。サービスは日本語にも対応しており、ユーザー登録をすれば※無料で使用することができます。有料版は月額20米ドルで、より高性能な言語モデルGPT4を使用できるほか、サーバの混雑時にも優先的に利用できるようになっていきます。

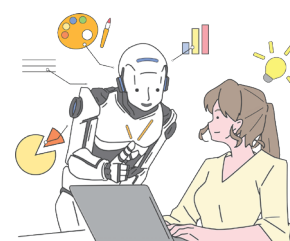
(※)2024年4月より会員登録・ログインしなくても使用できるようになりましたが、チャット履歴が保存されない・毎回学習設定をOFFにする必要があるなどの注意点もあります。業務でChatGPTを使用する場合はユーザー登録を推奨します。

同時に、生成AIが社会に与える影響は大きく、今後も指数関数的なAI技術の発達と生成AIの導入・活用が進めば、企業経営の在り方や事業・雇用環境の変化も十分に考えられます。

中小企業の活用状況

東京商工会議所が2024年5月に実施した会員中小企業への調査ではChatGPTを含む生成AIの活用状況について「活用している」と回答した企業の割合が11.7%となり「現在活用していないが、今後活用を検討している」は33.5%と、1年前(2023年5月)に調査しているデータと比較して活用に向き企業が増えています。

生成AIを「活用している」と回答した企業では、「コンテンツ作成・校正(社内外向け文書、メール・挨拶文等)」に活用している企業が最も多く63.8%となっています。



ChatGPTの利用方法

①公式サイトへアクセス
以下のURL及び、QRコードでアクセスしてください。

<https://chatgpt.com/>



「[ChatGPT]を装う偽サイトが多数確認されていますので、検索の際はご注意ください。」

②ユーザー登録・ログイン
サイトにアクセスすると、右上に「ログイン」と「サインアップ」が出てきますので、アカウントがない場合(初めての時は、「サインアップ」をクリックしてください)。



「サインアップ」をクリックすると、アカウント作成画面にいきますので、こちらで「メールアドレス」を入力し、その先の画面で「パスワード(12文字以上)」を設定します。その後、入力した「メールアドレス」にメールが届きますので「メールアドレスの確認」をクリックするとログイン出来るようになります。

アカウントの作成

メールアドレス*

続ける

すでにアカウントをお持ちですか? ログイン

または

Google で続行

Microsoft アカウントで続行

Apple で続行

メールアドレスの確認

ChatGPT アカウントの設定を続けるには、これがあなたのメールアドレスであることを確認してください。

メールアドレスの確認

このリンクは3時間後に有効期限が切れます。このリンクを行っていない場合は、このメールを無視してください。サポートが必要な場合は、[ヘルプセンター](#)を通じてお問い合わせください。

中小企業の生成AI活用状況(東京商工会議所が会員中小企業へ実施したアンケートより)

